

海外のミッションに挑み、実践力を身に付ける。

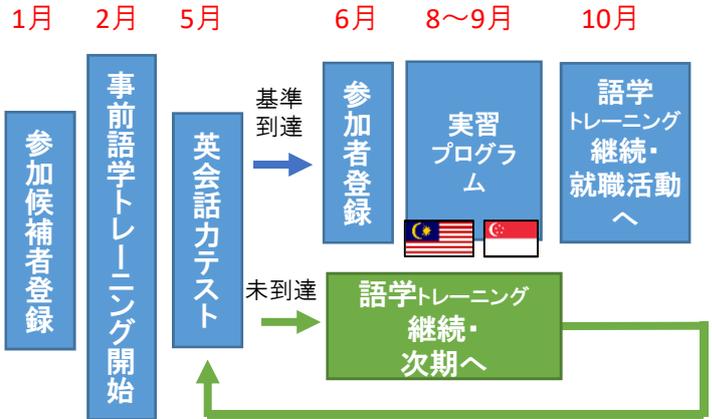
語学力を超えたグローバルコミュニケーション能力を身につけ、リーディング企業を目指す。

2023年度春学期(8-9月渡航)海外プロジェクト実践 募集要項



概要

海外プロジェクト実践は、グローバル企業への就職等、グローバル人材としてのキャリア形成に向けて、様々な学びと成長の機会を提供するものです。選考を経て参加候補者として登録された学生は、大学の受講料補助を得ながら語学トレーニング(詳細は裏面参照)を受講します。定められた語学レベル等の要件をクリアすることで、大学の補助を受けて低コストで海外プロジェクト実践に参加できます。



2023年度春学期(8-9月渡航)海外プロジェクト実践について

参加候補者は2月からオンラインの語学トレーニングを実施し、5月中旬に英会話力テストを受験します。結果をもとに最終選考のための面談を行い、実習プログラム参加者を決定します。

実習プログラム参加後においても語学トレーニングを継続します。さらに、プロジェクトでの経験を元にした就職活動のステップに進み、大手・上場企業への就職を目指します。

■内容 次ページ(紙の場合は裏面)参照。

■応募期間 2023年1月16日(月)～**1月29日(日)**まで

■応募方法 ①説明会参加者に配信されるエントリーフォームへ応募期間内にアクセスし、必要事項を入力する。
②説明会参加者に配付される申込書に記入し、応募期間内にWIL推進センター窓口(安威キャンパス1号館1階教務課・総持寺キャンパス2階就職・キャリア支援課内)へ提出する。

■応募条件 ①海外プロジェクト実践の趣旨を理解し、参加に向けた強い意欲と目的意識があること。
②通算GPAが2.2以上であること。
③8-9月に実施されるプロジェクト実践(実習タイプ)・インターンシップ実習と併願しないこと。

■応募から渡航・実習までの流れ

2023年 1月 応募(参加候補者登録用書類、登録フォーム提出)、面談、語学トレーニング受講申し込み、受講費支払い
2月 語学トレーニング開始
5月中旬 英会話力テスト受験、最終選考(語学トレーニング受講状況、英会話力テスト結果、面談)
6月上旬 参加者登録用書類提出、参加費等支払い
8-9月 渡航・実習

■注意事項

- ① 応募フォームには志望動機などの記述欄があります。応募に向けて早めに内容を確認して準備してください。
- ② 定員と選考があるため、語学レベル等の要件をクリアしていても参加できない場合があります。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大状況によっては、現地派遣は中止となる場合があります。
- ③ 説明会参加者に対する海外プロジェクト実践関連のお知らせはHarukaメールにお送りします。各自で必ず確認してください。Harukaメールについては情報メディア課のHPを参照してください。
- ④ 応募の時点では語学レベルは問いません。ただし、最終選考実施前の英会話力テストにおいて、実習プログラム毎に設定された英会話レベルをクリアする必要があります。
- ⑤ 語学トレーニングの受講のみ、または実習プログラムだけの申し込みはできません。
- ⑥ 渡航に際しては、新型コロナウイルスワクチンの接種を3回以上完了し、渡航に必要な有効なワクチン接種証明書を取得することを求めます。渡航までに確実に接種が完了できるようスケジュールを確認してください。なお、こうした条件については渡航先の国や地域の状況により、変更の可能性があります。
- ⑦ いずれの実習プログラムにおいても、渡航中・実習中にトラブルが発生した際には、自分自身で問題解決に当たる必要があります。大学、現地協力企業、旅行保険会社等による支援が提供されるため過度な心配は無用ですが、自ら考え、安全を確保し、コミュニケーションを図り、行動することを前提として参加してください。
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症への罹患、罹患の疑い、濃厚接触者としての指定等により、実習の一部または全部について不参加となった場合も、実習の補講や延長、参加費用等の返金は行われません。

CMでおなじみのオンライン英会話講座です。いつでも、どこでも、ネット環境さえあれば**自分の都合に合わせて学習**できます。実際に「**使える**」英語力獲得のため、外国人講師とのマンツーマンレッスンを大量に経験できます。最大限活用しましょう。開始受講後1か月時点で英会話力テストを受験し、その判定レベルによって、最終選考を行います。

受講期間は海外プロジェクト実践参加前の合計6か月間です。はじめの3か月の受講状況が平均して1週間のうち5日を下回った場合はその時点で登録が解除となり、以降の語学トレーニングや会話力テストは受講できません(受講費用は返金されません)。

★受講コース: 25分間のレッスンが1日1回合計6ヶ月間、毎日受けられる日常英会話コース

登録費1,000円+レッスン費6,380円/月×6ヶ月+会話力テスト3,278円+TOEIC IPテスト3,500円 = 46,058円 → **19,690円**
(大学が受講費用の約6割を補助します)

実習プログラム一覧

**現地渡航
3プログラムを実施!**

プログラム名	渡航先	語学基準※1	概要	日程	実習先	英語活用機会	募集枠※2	参加費※3 (下は大学補助後)	航空・宿泊料金
グローバルリズムプログラム	マレーシア: クアラルンプール	レベル6	現地旅行会社事務所でオフィスワーク、ツアー参加体験やツアー作成、プレゼン発表など旅行会社の仕事内容を学ぶプログラムです。観光ツアーの手配の流れやセールス方法、セールスツールの作成やWEBでのマーケティング調査など幅広い業務に携わります。	9月3日(日)~16日(土) 合計14日間	日系旅行社	高 現地人社員に囲まれての就業体験 社内公用語は英語	2~5人	347,200円 (2名参加の場合。11月15日時点) ↓ 247,200円	参加費に含む
グローバル・キャリア研修 in ベトナム	ベトナム: ホーチミン or ハノイ	レベル4-7	オンライン事前講座と現地企業での就業体験が一緒になったハイブリッド型プログラムです。個別面談を行い、約50社の中でマッチングし実習先企業を決定します。	8月5日(土)~9月8日(金) 合計32日間 ※8/7-8/9は日数に含まず	現地企業、多国籍企業、日系企業など	中~高 実習先による	2人	280,000円 ↓ 180,000円	宿泊のみ参加費に含む 航空料金は含まれない
実践型海外進出プロジェクト in ベトナム	ベトナム: ホーチミン、ハノイ	レベル2	ベトナム進出企業からのミッションを受け、現地でのビジネスブートキャンプを経てベトナム人学生とともにマーケット調査を実施。帰国後に調査報告と提案のプレゼンテーションを行う。	8月20日(日)~9月2日(土) 合計14日間	日本企業のプロジェクト型	自分次第常に英語が通じるわけではない	10人	210,000円 ↓ 60,000円	航空・宿泊料金いらず れも参加費に含まれない ※過去参考20万円程度

※1 実習プログラム参加には、5月中旬実施の会話力テストにおいてこの語学基準を満たす必要があります。
 ※2 募集枠は増減の可能性があります。また別途、最少催行人数が設定される場合があります。
 ※3 記載の金額は募集時点の参考料金であり、変動する可能性があります。特に、航空・宿泊料金については、為替の変動等の影響で上昇する可能性があります。なお、航空券や宿泊の手配は大学が一括して行います。自分で手配して費用を抑えるといったことはできません。食費や現地での交通費など、追加の費用も発生するため留意しておいてください。

★語学基準: 会話力レベルの目安

※この表はCFER-J(日本語版1.1)、レアジョブ会話カスコア換算表を元にWIL推進センターが作成したものです

	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	レベル7
聞く	日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。	(買い物や外食などで)簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。	視覚補助のある作業(料理、工作など)の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。
話す	前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。	前もって発話することを用意した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で描写できる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な句や文を使って、身近なトピック(学校や地域など)について短い話をするすることができる。	一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べることができる。	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語るることができる。	自分の関心事であれば、社会の状況について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問があれば相手に理解できるように答えることができる。